

科目名	生活支援学総論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	古 川 孝 順						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	現代社会における生活支援の対象としての生活問題、施策の体系、支援の方法と技術などについて体系的に理解し、必要な知識を身につけさせる。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 生活問題の理論について理解することができる。2) 生活問題の動向を現代社会の動向に結びつけて理解することができる。3) 生活支援の体系について系統的に理解することができる。4) 生活支援の個別施策について内容を理解することができる。4) 以上の理解を前提に、生活支援のあり方について自分自身の考え方をもちつことができる。						
学習方法	講義とディスカッションによって進める						
テキスト及 び参考書等	古川孝順『生活支援の社会福祉学』有斐閣、2007年						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	◎				40	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎				20	
授業態度				○		10	
受講者の発表		◎			○	20	
授業への参加度				◎		10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	イントロダクション						
第 2 週	生活支援の考え方(1)						
第 3 週	生活支援の考え方(2)						
第 4 週	社会問題と生活問題						
第 5 週	生活の論理						
第 6 週	生活のニーズと支援ニーズ(1)						
第 7 週	生活のニーズと支援ニーズ(2)						
第 8 週	生活支援施策の体系						
第 9 週	生活支援施策と社会福祉						
第 10 週	人権擁護						
第 11 週	雇用保障						
第 12 週	所得保障						
第 13 週	保健医療サービス						
第 14 週	住宅サービス						
第 15 週	福祉サービス						
第 16 週	まとめ						
備 考	事前・事後学習を行うこと。						